

カテゴリー

バイオメカニクス

タイトル

歩行中の内側広筋斜走線維、外側広筋、大腿筋膜張筋に対するきついスカートの効果
Effects of Wearing a Tight Skirt on the VMO, VL, and TFL Muscles during Walking

JStage Won-gyu Yoo Volume 25 (2013) Issue 1 Pages 1-2

なぜこの論文を読もうと思ったのか？

下衣によって歩行中の下肢筋に対してどういった影響があるか興味があったため

内 容

背景・目的

・本研究の目的はきついスカートを履いた際に、歩行中の下肢筋にどういった影響が及ぶか調べることである。

方法

- ・ 12名の健常成人
- ・ 筋電計にて内側広筋斜走線維（VMO）、外側広筋（VL）、大腿筋膜張筋（TFL）に対して電極を貼付した。
- ・ ポリエステル製、弾性のないスカートを履いてもらった
- ・ 以下、3サイズ
- ・ ①腹囲と同サイズ、②腹囲の110～120%のサイズ、③腹囲の90～95%のサイズ
- ・ 上記3条件でトレッドミル歩行を計測した。

結果

- ・きついスカートでのVL、TFLでは通常サイズに比べて高い活動を示した（通常スカートVL $20.6 \pm 9.7\%$ 、通常スカートTFL $19.2 \pm 13.0\%$ 、きついスカートVL $27.0 \pm 11.4\%$ 、きついスカートTFL $26.9 \pm 16.5\%$ ）。
- ・内側広筋の活動はきついスカートで減少した（きついスカートVMO $19.2 \pm 8.9\%$ 、通常スカート $22.7 \pm 10.4\%$ ）。

私見・明日への臨床アイデア

- ・きついスカートでは大腿外側にある筋が活動しやすいことがわかった。逆に内側は内側広筋の活動が減少していた。若い女性を被験者にしており、着ている服から筋活動を考察するのも面白いかもしれない。

職種 理学療法士
